

# 高速道路リニューアルに向けたのり面健全性評価モデルの提案とあらたな地盤補強工法の開発に関する工学的研究

濱崎, 智洋

<https://hdl.handle.net/2324/1959119>

---

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (工学), 課程博士  
バージョン :  
権利関係 :

氏名	濱崎 智洋			
論文名	高速道路リニューアルに向けたのり面健全性評価モデルの提案と あらたな地盤補強工法の開発に関する工学的研究			
論文調査委員	主査	九州大学	准教授	笠間清伸
	副査	九州大学	教授	安福規之
	副査	九州大学	教授	島田英樹

### 論文審査の結果の要旨

本論文は、既設のグラウンドアンカー補強のり面の合理的な維持・管理を行うために、グラウンドアンカー補強のり面の経過年数に伴う損傷率を推定できるモデルおよび打音診断技術を活用した緊張力推定法を構築し、今後の補強・補修が必要となるのり面の抽出ならびにその対策の優先順位の提案を行ったものである。さらに、高速道路のり面の新たな補強技術として、排水機能を有する羽根付き有孔鋼管による地盤補強工法を開発し、原位置試験と数値解析により排水効果と補強効果の面からその有効性を検証しているものであり、防災地盤工学上、寄与するところが大きい。

よって、本論文は博士(工学)の学位に値するものと認める。